

春中牛馬ごうまに飼候かひものを、秋さき

支したく仕しべく候、でんはたへ刈かりしき

なりとも、其そのほか何こえなりとも、

よくいれ候へば、つくりにとり実み

これあり候事

一男ひとこはさくをかせぎ、女房にようばうハ苧をはた

をかせぎ、夕ゆふなべを仕り、夫婦ふうふ

ともにかせき申へく候、然しかれバみめかたち

よき女房なりとも、夫をつとのことをおろそか

に存ぞんじ、大茶おほぢやをのミ、物ものまゐり・遊山ゆざんずき

する女房を離別りべつすべし、去きながら子こども

多おほくこれあるか、前まへかと思おんも得えたる女房

ならハ格別かくべつなり、またミめかたちあしく候とも、

夫乃所帯しよたいを大切たいせつにいたす女房をハ、いかにも